

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第68期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	マナック株式会社
【英訳名】	MANAC INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉之原 祥二
【本店の所在の場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084(954)3330(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084(954)3330(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第1四半期連結 累計期間	第68期 第1四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	2,482,679	2,423,204	9,366,557
経常利益(千円)	137,035	96,163	369,757
四半期(当期)純利益(千円)	48,428	58,251	109,549
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	16,892	68,765	176,461
純資産額(千円)	8,442,683	8,473,141	8,582,079
総資産額(千円)	12,205,185	12,090,144	12,386,262
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	6.03	7.25	13.63
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	69.2	70.1	69.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高や欧州の債務危機に端を発した世界的な景気の減速により、アジア地域においても中国やインドの経済成長が鈍化するなど、景気の先行きが不透明な状況で推移しております。

このような経済状況において、当社グループは「グローバル・マナック」を目指して、新しいマーケットの開拓とニーズの発掘に積極的に取り組んでまいりましたが、需要の低迷により、低調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,423百万円（前年同四半期比 59百万円、2.4%減）となり、営業利益は21百万円（同 90百万円、81.0%減）、経常利益は96百万円（同 40百万円、29.8%減）、四半期純利益は58百万円（同 + 9百万円、20.3%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料や機能材料が景気の減速により厳しい環境となりましたが、医薬関連製品は、大きく経済環境に左右されることなく堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,360百万円（前年同四半期比 + 91百万円、7.2%増）、セグメント利益は109百万円（同 50百万円、31.6%減）となりました。

難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、情報端末や家電製品、IT産業関連製品の高機能プラスチックに使用される分野で需要が縮小いたしました。

その結果、売上高は767百万円（同 111百万円、12.7%減）、セグメント利益は72百万円（同 29百万円、28.6%減）となりました。

ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析薬剤として使用される原料は国内販売がほとんどを占めており、需要は安定的に推移いたしました。稼動・在庫調整の影響があり低調に推移いたしました。

その結果、売上高は295百万円（同 39百万円、11.7%減）、セグメント利益は35百万円（同 5百万円、14.3%減）となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて296百万円減少し、12,090百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金や金銭の信託が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて187百万円減少し、3,617百万円となりました。これは主に、短期・長期借入金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて108百万円減少し、8,473百万円となりました。これは主に、その他包括利益累計額合計が、株式相場の低迷や円高の進行により減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、97百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,200,000
計	23,200,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,625,000	8,625,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	8,625,000	8,625,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	8,625,000	-	1,757,500	-	1,947,850

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 590,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,011,800	80,118	-
単元未満株式	普通株式 22,700	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,625,000	-	-
総株主の議決権	-	80,118	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
マナック株式会社	広島県福山市箕沖町92番地	590,500	-	590,500	6.85
計	-	590,500	-	590,500	6.85

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,782	1,304,169
受取手形及び売掛金	3,051,503	2,925,029
有価証券	160,331	158,945
金銭の信託	1,200,000	1,000,000
商品及び製品	1,028,726	1,026,141
仕掛品	545,508	512,426
原材料及び貯蔵品	387,438	451,560
繰延税金資産	121,463	145,431
その他	127,376	51,129
貸倒引当金	2,572	2,619
流動資産合計	7,879,558	7,572,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,098,837	1,080,142
機械装置及び運搬具(純額)	608,161	661,971
土地	1,146,675	1,146,675
建設仮勘定	50,724	24,304
その他(純額)	168,909	189,971
有形固定資産合計	3,073,307	3,103,065
無形固定資産	3,504	3,181
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,804	1,030,983
関係会社長期貸付金	109,950	109,800
繰延税金資産	84,461	70,439
その他	205,275	201,059
貸倒引当金	600	600
投資その他の資産合計	1,429,891	1,411,682
固定資産合計	4,506,703	4,517,929
資産合計	12,386,262	12,090,144

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,235,465	1,226,013
短期借入金	946,669	900,002
未払法人税等	96,224	27,498
賞与引当金	140,841	71,798
その他	665,658	733,111
流動負債合計	3,084,860	2,958,425
固定負債		
長期借入金	333,609	298,990
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
負ののれん	81,084	70,948
その他	249,900	233,910
固定負債合計	719,323	658,577
負債合計	3,804,183	3,617,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,144,104	5,162,183
自己株式	243,622	243,622
株主資本合計	8,605,831	8,623,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,621	79,153
繰延ヘッジ損益	8,695	2,431
為替換算調整勘定	48,069	69,184
その他の包括利益累計額合計	23,752	150,770
純資産合計	8,582,079	8,473,141
負債純資産合計	12,386,262	12,090,144

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	2,482,679	2,423,204
売上原価	1,950,754	1,985,720
売上総利益	531,924	437,484
販売費及び一般管理費	420,267	416,227
営業利益	111,657	21,257
営業外収益		
受取利息	1,819	1,359
受取配当金	7,063	11,655
負ののれん償却額	10,135	10,135
受取ロイヤリティー	9,285	9,285
受取保険金	-	31,000
その他	5,293	25,584
営業外収益合計	33,598	89,021
営業外費用		
支払利息	6,376	5,548
為替差損	1,579	7,400
その他	262	1,164
営業外費用合計	8,219	14,114
経常利益	137,035	96,163
特別損失		
固定資産除却損	694	579
投資有価証券売却損	-	728
投資有価証券評価損	301	-
退職給付制度終了損	50,396	-
特別損失合計	51,392	1,307
税金等調整前四半期純利益	85,643	94,856
法人税、住民税及び事業税	38,847	30,735
法人税等調整額	1,633	5,868
法人税等合計	37,214	36,604
四半期純利益	48,428	58,251

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
四半期純利益	48,428	58,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,993	94,774
繰延ヘッジ損益	-	11,127
為替換算調整勘定	8,542	21,115
その他の包括利益合計	31,536	127,017
四半期包括利益	16,892	68,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,892	68,765
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	67,787千円	69,673千円
負ののれんの償却額	10,135	10,135

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	60,260	7.5	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	40,172	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,269,157	878,739	334,782	2,482,679
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,269,157	878,739	334,782	2,482,679
セグメント利益	160,713	101,880	41,027	303,620

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	303,620
全社費用(注)	191,963
四半期連結損益計算書の営業利益	111,657

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,360,292	767,432	295,479	2,423,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,360,292	767,432	295,479	2,423,204
セグメント利益	109,898	72,773	35,163	217,835

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,835
全社費用(注)	196,578
四半期連結損益計算書の営業利益	21,257

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円3銭	7円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	48,428	58,251
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	48,428	58,251
普通株式の期中平均株式数(株)	8,034,754	8,034,484

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 9日

マナック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 世良 敏昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 中原 晃生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマナック株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マナック株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。